

市内の建造物2件が国の登録有形文化財に登録されます

問 藤井達吉現代美術館文化財係 ☎ 48-6602

次の建造物（浅間町）が、国の文化審議会の答申で登録有形文化財（建造物）として登録されることになりました。

種別	名称	員数	所有
建築物	鈴木家住宅主屋	1棟	個人
	鈴木家住宅裏座敷及び渡り廊下	1棟	



△鈴木家住宅主屋



△鈴木家住宅裏座敷及び渡り廊下



鈴木家住宅主屋は、新川河口に位置するもと肥料問屋の主屋で、明治後期に建てられたとみられます。木造二階建、瓦葺の形式で、肥料問屋の繁栄を伝える重厚な大型町家として評価されました。鈴木家住宅裏座敷及び渡り廊下は、主屋北西隅から渡り廊下で接続する隠居所とその渡り廊下で、昭和前期の建築とみられます。裏座敷は木造平屋建、瓦葺の形式で、簡素ながら質実な座敷として評価されました。これらは、原則として建設後50年を経過したもののうち「造形の規範となっているもの」という登録基準を満たし、登録されることになりました。これにより市内の国登録有形文化財は、九重味淋大蔵、県立碧南高等学校正門門柱と合わせ4件となります。

愛知県指定無形文化財に新指定されました

問 藤井達吉現代美術館文化財係 ☎ 48-6602

次の文化財が愛知県指定無形文化財に指定され、その保持者として川口清三氏（東山町）が8月4日付けで認定されました。

種別	名称
無形文化財（工芸技術）	もくこうげい 木工芸



△川口清三氏制作風景



ほおふきうるしもりき
◁ 朴拭漆盛器
第54回日本伝統工芸展(2006年度)
東京都知事賞
国立工芸館所蔵
奥行36.5cm 幅56.5cm 高7.8cm

木工芸は芸術上の価値が高く、県の工芸史上に特に重要な位置を占めています。

川口清三氏は、建具店における建具制作を通じて指物技術さしものを習得する一方、伝統的な刳物技法くりものを習得しました。その後も、構えた工房で制作に取り組みながら技法・表現の研さんを重ね、木工芸の技法を高度に体得しました。現在も、刳物を中心とした伝統的な木工技術を継承しつつ、芸術性の高い作品づくりを展開しています。

今回の指定により、市内の県指定文化財は7件になりました。